

「なんぞのときのよっしゃ！」

～ひとりひとりの子どもの人生をサポートできる場と人を地域に！

大阪府

## NPO 法人西淀川子どもセンター

**支援対象:** 小学生・中学生・高校生 と その家族  
**支援方法:** 相談と見守り・学習支援・生活支援・余暇支援・文化体験・心のケアと意欲回復  
**スタッフ数:** 10 名  
**実施団体:** NPO 法人西淀川子どもセンター  
**代表者:** 西川 日奈子



住所: 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島 6-9-3-101  
TEL: 06-6475-1372 FAX: 06-6475-1372  
e-mail: popi-nishiyodo@clear.ocn.ne.jp  
URL: <http://www11.ocn.ne.jp/~popins08/>

### 成り立ちと活動の全体像

わたしたちは、児童虐待防止のため、困ったときに子どもが駆けこんでくれる地域の場をめざして、子ども相談室、CAP(子どもの暴力防止)活動、地域セミナー、夜間サテライト事業などを通じて、これまでも区社協や区役所、大阪市子ども相談センターとも連携しながら、地域の「子ども支援」を地域住民とともに進めてきた。

虐待の通告対応件数は全国で7万3千件を超え、そのほとんどがその後の地域見守り案件となっている。また、DV防止法施行後の支援体制や啓発によって、配偶者暴力から逃れて支援を求める女性も増加している。若年層の離婚が増え、国勢調査では20才以下の子どもを抱えている単独の母子家庭が5年ごとに10万件ずつ増え、平成22年の76万台で高止まりとなっている。また、母子世帯の母親85%は就労していながら貧困状態である。家を失い友人宅を転々としながらパートナーが次々と変わる若い親たちの状況も懸念している。そんな中で、たとえ運良く相談等の支援に出会え

ても、大人側の事情に付き合うしかないその子どもたちへの配慮やケアまでには、どうしても各地域各場所での支援体制が及ばないままという現実がある。子どもの困難の背景の生活事情や親自身の不安定にも、あたりまえの配慮や寄り添いを心がけることが必要であると考えている。現在、活動継続のために、若いスタッフたちを養成している。

## 沿革

- 平成 19 年 9 月 西淀川子どもセンター  
を立ち上げる
- 平成 20 年 3 月 NPO 法人格取得
- 平成 20 年 8 月 大阪市 CB プロポーザ  
ル事業にて市営住宅に  
事務局設置
- 平成 22 年 4 月 てらこや活動スタート
- 平成 24 年 10 月 5 周年記念シンポジウ  
ム開催
- 平成 25 年 4 月 夜間サテライト準備事  
業
- 平成 26 年 夜間サテライト事業ス  
タート（60 回実施）
- 平成 26 年 11 月 内閣府「子どもと家  
族・若者応援団特命担  
当大臣表彰」受賞

## 主な活動

地域に根ざした子ども支援（特に、子ども自身が自分のことを気軽に話せる場と人を増やすこと）を目指している。

「ぼびんず」・・・子ども相談室・子ども文庫・子ども文化の推進・若者対象の学習や生活のサポート

「よっしゃ」・・・地域連続セミナー・交流サロン・講演と研修・賛助会（会報発行）

CAP（子どもへの暴力防止）・・・幼・小・中・保護者・教職員・地域諸団体向け

夜間サテライト「いっしょにごはん！食ベナイト？」

危機対応・・・一時保護・通告相談・介入時の橋渡し・アフターケア

## 活動風景



# 施設退所児童の自立支援を始めて 50 年経ちました 今後も充実した活動を続けます

大阪府

## 社会福祉法人大阪児童福祉事業協会 アフターケア事業部

**支援対象:** 高校生年代～25 才位までの施設出身者。

**支援方法:** 来訪、電話・メール、訪問

**スタッフ数:** 5 名

**実施団体:** 社会福祉法人大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部

**代表者:** 理事長 家常 恵



住所: 〒543-0021 大阪府大阪市天王寺区東高津町 12-10  
大阪市立社会福祉センター309  
TEL: 06-6765-3400 FAX: 06-765-3402  
e-mail: info@sonamamail.or.jp  
URL: <http://www.sonamamail.or.jp/>

### 成り立ちと活動の全体像

昭和 30 年代、中学校卒業と同時に施設を卒園し、社会へ巣立った子どもたちが職場等で行き詰まり、頼れる親族もなく、退所後の受け皿がない中で様々な困難に陥る姿が多く見られた。その中で社会的自立を支援する機関設立の必要性が高まり、当事業部が誕生した。具体的には、健全育成事業としての通信「そらまめ～る」を年 3 回発行し、暑中見舞・クリスマスプレゼント・年賀状等々、2 ヶ月に 1 度は施設を出た子どもたちに激励の心を文章に添えて発送している。また、施設入所中で就職予定の子どもたちに自立生活技術講習会（ソーシャル・スキル・トレーニング）として、自立に必要な内容の講習会を年間 13 回開催している。さらに、相談援助活動事業として、相談・訪問援助活動や専門的相談援助、職場の開拓・協力等も行っている。

### ソーシャル・スキル・トレーニングの実施

A 君は両親が行方不明で 0 歳から施設で育ち、高校卒業と同時に施設を退所して入社し、会社の寮に住みました。

2 ヶ月後のある朝、腹痛で出勤できなかったにも関わらず、休む理由を上司に電話連絡でどの様に言えば良いのか分からず、無断欠勤してしまいました。翌日、上司に対しての謝り方がわからず、そのままずるずると無断欠勤が続き、結局解雇されてしまいました。A 君は職場の寮で生活していたので、解雇と同時に退寮となり住居も失うことになってしまいました。

行くあてもなくその日から公園で寝て水だけで空腹を紛らわす生活となりました。そしてあまりの空腹に耐えかね、食料を万引きしてしまったので、警察に窃盗で補導されてしまいます。帰住先も保護者もない A 君はその後少年鑑別所へ送られることになってしまいました。A 君は当時を振り返り、『僕が腹痛で休みたいという簡単な連絡を職場に出来なかったのは、単に言葉遣いが分からな

## 沿革

**昭和39年** 社会福祉法人大阪児童福祉事業協会法人認可と同時にアフターケア事業部事業開始。

**平成26年** 厚労省より退所児童等アフターケア事業の認定を受ける。

## 主な活動

- 1) 健全育成事業  
通信「そらまめ～る」の編集・発送  
就職予定者支援プログラム・自立生活技術講習会(Social Skilled Training)  
・パソコンセミナーの実施 ・就職予定者研修会への協力  
プレゼント  
・初就職祝 ・クリスマスプレゼント ・職場10年定着者表彰  
フリールーム  
・来室者の憩いの場  
・パーソナルコンピュータの自由操作やインターネットの利用  
行事  
・初就職祝い会・お楽しみ会・お盆休みお食事会  
「法律なんでも相談会」の開催。
- 2) 相談援助活動事業  
相談・訪問援助事業  
・来室・職場訪問・住居訪問・施設訪問・関係機関との連絡・訪問・  
調整・電話・Eメール・手紙による交流  
専門的相談援助  
・法律相談・心理相談・医療相談・自立相談援助・虐待防止援助  
職場の開拓・協力・雇用主懇談会開催・雇用主からの就職児(者)  
についての相談・援助・職親・雇用主の開拓と高齢児里親への協  
力。
- 3) 調査研究事業

かった、それだけなんです。』とつくづく言っていました。

このような相談が多いので、基本的な社会のマナーを身に付けるために施設入所中の子ども達(中学3年生～高校3年生)を対象に、自立生活をすすめる上で必要な知識についてのプログラム(ビジネスマナー・職業適性セミナー・薬育・身だしなみセミナー・金融教育・身近な法律の話など)を毎年13回程度実施しています。

### ある日の相談

B君は幼い時に両親が離婚し、病弱な母親に兄弟と共に引き取られたが、その母が亡くなってから非行に走り、13歳の時に児童自立支援施設に入所しました。

中学校卒業後の進路のことで当事業部に相談があり、建築業を営む協力雇用主(職親)さんのところに住み込み就労することになりました。就職後もなかなか落ち着かず、遅刻、無断欠勤をしたり、突如「職場を辞める」と言い出したり、悪徳商法

に引っかかるなど様々なトラブルがあったが、その都度、職親さんと共に叱咤激励し、支援を続ける中、落ち着いた生活を送れるようになり、現在では一人前の職人として働いています。



# 子どもが主人公になる居場所づくり ～人と人がつながる町づくりを目指して～

大阪府

## 特定非営利法人ハートフレンド

**支援対象:** 乳児、乳幼児の親、児童、中学生、高校生、  
高年齢者～大人

**支援方法:** てらこや、おとなのてらこや、児童デイサービス、  
地域子育て支援拠点事業

**スタッフ数:** 47名

**実施団体:** 特定非営利法人ハートフレンド

**代表者:** 徳谷 章子



住所: 〒546-0041 大阪市東住吉区桑津 2-6-3  
TEL: 06-6719-6055 FAX: 06-6719-6055  
e-mail: info@heart-fd.jp  
URL: <http://www.heart-fd>

### 成り立ちと活動の全体像

平成 15 年「地域に建った仮設消防署あとを取り壊さずに残して、地域の親子の育ちの居場所にした」と子ども会活動にかかわる母親 15 名で嘆願運動をする。地域の連合町会の会長、女性部長、民生委員長が賛同してくださり行政との交渉を経て仮設消防所あとは、地域のすべての親と子の子育てを支えあう居場所、子どもの生きる力を育む居場所となっていく。みんなで考えた活動は次から次へと生まれた。平成 18 年法人化。行政からの理解やサポートをいただいたおかげで地域の中でも協力者が増え、現在はスタッフ 47 名となる。

### 「団体が目指していること」～子供の生きる力を育む

学習に不安を感じている子どもが、自ら「てらこや」にやってきます。4 年生の学習内容がわからない。当団体の「てらこや」は 12 年目になりますが、4 年生でも 5 年生でも 1 年生の学習内容から復習します。こつこつとやり直すと、3 ヶ月ぐらいたつと、少しずつ計算力がついてきます。一年経つとわからなかった箇所が理解できるようになってきます。スタッフは、地域の大人です。励ましながら、できているところを誉めながら、粘り強くサポートしていきます。自身のついてきた子どもは顔の目の輝きが違います。生活面でも良い方にやる気が出て変化します。

## 沿革

- 平成 15 年 12 月 ハートフレンド発足
- 平成 16 年 4 月 文部科学省「地域子ども教室」受託 H18 年まで
- 平成 18 年 4 月 法人化 NPO 法人となる理事 10 名 監事 1 名
- 平成 19 年 9 月 「よみうり子育て応援団大賞」受賞
- 平成 20 年 3 月 ハート広場に加えふれんど広場、平野おやこ、龍華おやこの運営
- 平成 22 年 11 月 子ども若者育成、子育て支援功労賞 内閣府特命担当大臣賞の受賞
- 平成 24 年 1 月 児童発達支援等デイサービス指定・開設
- 平成 25 年 4 月 仮設消防署あとから民家に移転する家に移転する

## 主な活動

- てらこや（子どもの学習支援）
- おとなのてらこや（高齢者の認知症予防）
- 児童発達支援等デイサービス
- 地域子育て支援拠点事業
- 世代間交流（東住吉区民金魚すくい大会）
- 子どもの防災リーダー養成講座（一泊避難所体験事業）  
（こども防災探検隊 H20～）
- 「子育て・教育相談」
- 発達障害がある親子の子育て力 up 講座の通年を通じての開講  
（コモセンスペアレンティング）

### 印象深いエピソード～児童デイサービスにおいて

3 年生で「てらこや」にきた男の子は、学習面もしんどく、友人関係もうまくつくれずに、いつも友だちともめていました。彼は障害がありました。4 年生になり、当団体の児童デイサービスも利用するようになりました。彼は、身の自立ができていて、コミュニケーションもとれるので、ほかの重度の障害のあるお友達を助ける役目をしたり、指導員のお手伝いをしたりしてくれました。5 年生になると、学級でも、友達とのケンカが減りました。担任や他の友人に誉めてもらったり認めてもらうことで自信がつき「怒りをコントロールできるようになった」と言いました。どの子も、生きる力があります。それをうまく引出し、伸ばしていくことが私たちの役目かと思った瞬間でした。



# ひきこもりの若者・家族が気軽に相談し 自立に向け立ち寄る居場所、交流の場の提供

兵庫県

## NPO 法人コウノトリ豊岡 いのちのネットワーク

**支援対象:** 全年齢(地域ランチの対象年齢)

**支援方法:** 相談(電話対応・面接・メール)、家庭訪問、  
座談会、関係機関との連携

**スタッフ数:** 20名(非常勤2名・その他はボランティア)

**実施団体:** NPO 法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク

**代表者:** 北村 彰秀 (ドーナツの会 代表) 上坂 充



住所: 〒668-0045 兵庫県豊岡市城南町 23 - 6  
豊岡健康福祉センター3階  
TEL: 0796-26-1101 FAX: 0796-26-1102  
e-mail: info@kounotori-inochinet.com  
URL: http://kounotori-inochinet.com/

### 成り立ちと活動の全体像

2001年発足。「全ての『いのち』が輝く地域社会を実現する」をテーマに ひきこもり等の支援プロジェクト、大震災復興支援プロジェクト、農から始まる「こうのとりのいのちの学校」プロジェクト、食育・生活改善プロジェクトの4プロジェクトを総合的に、有機的に関連させ活動している。

ひきこもり支援プロジェクトは、ドーナツの会が担っている。2011年10月教師が退職後に現役で関わった子供たちが「ひきこもっている」ことに心痛めた者達が集まって民間のボランティア組織を作り上げ、2012年5月に事務所(マンションの一室を借用)を開設した。2014年迄に相談者数60名。居場所へ8名。就労した者6名。2014年4月、市の施設へ移転、兵庫県ひきこもり支援センター但馬地域ランチへ委託を受ける事となった。運営に関しては、寄付金と委託金で運営しているためボランティア精神に頼るしかない現状である。ボランティア登録者は60代から80代と若いメン

バーの登録はなく課題が残る。

ひきこもりの若者、家族が気軽に相談し、自立に向け本人が立ち寄る場所、交流の場を提供している。

相談に乗るとともに、家庭訪問を随時実施している。広報により但馬地域からの発信が増えた。

### ドーナツの会の活動

ひきこもりに関する相談の実施、居場所・交流スポットの運営 ひきこもりの当事者及び家族の悩みを聴き解決策を一緒に考える。若者の居場所では手機織、スケッチなどして自由に過ごしている。

家庭訪問の実施 随時当事者宅を訪問し、家族や当事者の話を聴く。時には当事者に会えず家族のみの対応の事もある。そして行事への参加を促す。現在1名が訪問し居場所へ連れ出し手機織をしている。当初は、家族同伴でなければ出れない若者が、ボランティアと一緒に居場所へと来れる。

若者の会・親の会 各会は月1回の行事を実

## 沿革

- 平成 23 年 6 月 任意団体「コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク」設立
- 平成 23 年 7 月 他の 6 団体と協議会を作り災害支援活動、食育活動開始
- 平成 23 年 11 月 ドーナツの会設立
- 平成 24 年 3 月 特定非営利活動法人「コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク」認証
- 平成 24 年 5 月 豊岡市塩津に事務所を開設
- 平成 26 年 4 月 豊岡市城南町 豊岡健康福祉センターに移転
- 平成 26 年 4 月 兵庫ひきこもり支援センター但馬地域ランチ開設

## 主な活動

ひきこもり支援プロジェクト ひきこもりなどの相談・居場所・交流、家庭訪問、自立支援活動、関係機関等の座談会・個別相談会、出前講座・個別相談

農から始まるいのちの学校プロジェクト 地域子どもたちが大人と無農薬・有機栽培を行う。種まきから収穫まで。

食育・生活改善プロジェクト 若い母親を中心に食育、地産地消、生活改善を推進する。地域に出向き実施する。

災害支援プロジェクト 被災地への野菜の送付

復興支援ボランティア派遣プロジェクト 復興支援活動を中学～大人までのボランティアが 7 月に宮城県へ 2 泊 3 日で行く。(40 名程度)

施。料理をしたり、スポーツ（グランドゴルフ 2 回/年、上坂カップと称し実施）話をしたり、悩みを聴いたり、当事者に対して工夫をしている事を話したりする。

平成 26 年度は若者・家族・ボランティアの作品展を開催し、作品の販売をする。社会への参加と自分の能力の開発。就労、労働金へのスタート。

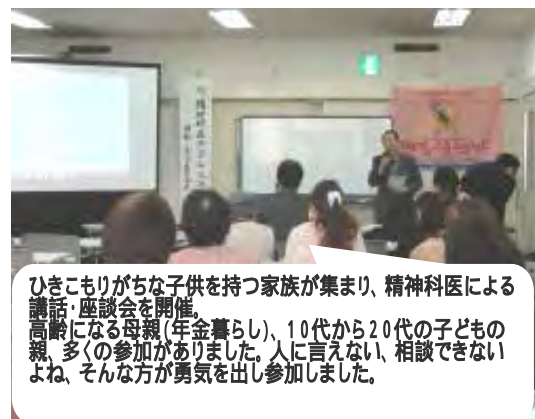
## 印象深いエピソード

県との連携 兵庫ひきこもり相談支援センター（但馬地域ランチ）活動の拡大と地域相談会の実施

平成 26 年はひきこもり座談会と相談会（平成 26 年 6 月・平成 27 年 2 月）実施。出前講座と相談会（平成 27 年 3 月美方郡香美町）で実施。県との連携会議出席と事例検討会。研修会への参加。

地域ネットワーク 豊岡市自立支援対策連絡会議への参加（9 団体からなり、行政・教育委員会・若者サポートステーション・生活支援センター・障害者就業・生活支援センター等）医療関係との

連携を含め、但馬各市町村の行政、民間団体等との連携を図り、ひきこもり支援の在り方を協議し、啓発を図ることを目標に努力をしている。





# 想像してみよう、未来の輝く自分を

兵庫県

## 特定非営利活動法人いまじん

**支援対象:** 不登校、経済的困難を有する世帯の子ども等

**支援方法:** 学習支援

**スタッフ数:** 常勤 2 名

**実施団体:** 特定非営利活動法人いまじん

**代表者:** 岸本 俊之



住所: 〒676 - 0825 兵庫県高砂市阿弥陀町北池 23 - 11

特定非営利活動法人いまじん

TEL: 079 - 447 - 9508 FAX: 079-447-9508

### 成り立ちと活動の全体像

私高砂市在住の岸本俊之（もと経済産業省近畿経済産業局勤務）は妻佳子と平成 18 年より学習塾アクロスを立ち上げ現在に至るまで継続して 10 数名ほどの不登校学生や不登校経験者の修学支援や登校支援を行ってきました。

しかしながら不登校生の所属する教育機関等に対し相談や交渉を行う場合、個人の立場では当方への理解が得られない場合がありました。

その後、兵庫県に対し NPO の設立認証申請を行い、平成 25 年 3 月 19 日付けで不登校支援を行う NPO として NPO いまじんが兵庫県より設立認証されました。

現在は不登校以外の困難を有する子どもたちへの学習支援などを通じて地域社会に貢献しています。

### ある日の活動風景

周辺の河川の清掃ボランティア活動



## 沿革

平成 18 年 1 月 学習塾アクロスがスタート、通常の生徒さんと不登校生への学習支援を行う。

平成 25 年 3 月 NPO 法人いまじんを設立。不登校支援を行う。親の会の実施、通信制高校のサポート校認定

平成 25 年 8 月 兵庫県コミュニティビジネス離陸応援事業

平成 26 年 6 月 姫路市学習支援事業

## 主な活動

学習支援活動  
教室形式で、週 1 回学習会を開催

社会参加支援活動  
ボランティア活動等、社会参加支援活動

修学支援  
学校生活など悩み事の相談を受ける

---

---

## 印象深いエピソード

---

---

ある学習会参加者（中 3）の保護者からの入試直前の喜びのメール

「ありがとうございます。

本人も、頑張ってくれと思います。

今も、帰ってご飯を食べて、学校に行っている時には全く見せない顔で、すごく笑っていい顔をしています。

必ず、頑張ってくれと思います。私も、勉強、勉強言わないで、頑張ってくれと信じています。本当に先生に出会えて良かった。感謝の限りです。もう少しですが、宜しくお願いします。」

# 多文化共生

奈良県

## 吉野自主夜間中学 (吉野に夜間中学をつくる会)

**支援対象:** 学齢期の子ども、学齢期に不就学・未修了の方々や在日ハルモニ、中国「残留孤児」、日系中南米や東アジアからの就労・結婚渡日、ALT(外国語指導助手)等の方々と幅広い。

**支援方法:** 主に日本語学習(生徒さんの要望に応じて)

**スタッフ数:** 約 20 名

**実施団体:** 吉野自主夜間中学(吉野に夜間中学をつくる会)

**代表者:** 辻本 節子

住所: 〒637-0020 奈良県五條市西阿田町 42 北山健様方  
TEL: 0747 - 25 - 2661 FAX: 0747-25-2661

### 成り立ちと活動の全体像

奈良県内で 3 校目に出来た公立夜間中学に吉野郡の遠方から通っていた中国「残留孤児」の方から「住んでいる近くに勉強できる学校を作ってほしい」との要望があり、1996 年 10 月に開校した。

### 支援のスタイル・方法など

吉野自主夜間中学(以下吉野自主夜中)は、入学したい人であれば、年齢・国籍・性別等関係なく、授業料・教材・筆記用具等無料でいつでも入学できる。

吉野自主夜中の学習は、大淀町中央公民館(使用料免除)を会場とし、毎週月曜日と金曜日、午後 6 時から午後 9 時まで行なっている。

午後 6 時から午後 7 時までは補食(うどん)の時間としている。

吉野自主夜中の生徒さんは、東吉野地区(大淀町、下市町、吉野町、黒滝村、天川村、川上村、東吉

野村、上北山村、下北山村)及び高市郡、橿原市、五條市、御所市等に在住している学齢期の子ども、学齢期に不就学・未修了の方々や在日ハルモニ、中国「残留孤児」、日系中南米や東アジアからの就労・結婚渡日、ALT(外国語指導助手)等の方々と幅広い。

また、生徒さんの年齢は 10 歳未満から 80 歳代までの方がおり、20 歳代から 50 歳代までが 70%を占めている。吉野自主夜中での学習スタイルは、生徒さんの目的に応じてマンツーマン学習を基本としている。

吉野自主夜中から巣立って行った学齢期の生徒さん(成人 3 人を含めて)が県立高校(定時制を含め)に 15 人進学していった。ソウルの大学・大学院を卒業した生徒さん 3 人も日本の大学院に進学した。大学院に進学した 1 人は博士号を取得し、自国の大学で講師として活躍している。

就労・結婚渡日の生徒さんには出来る限り、日本語をマスターする最短方法として、日本語能力検定の受験を勧めている。現在、10 人が日本語能力検定 N1(旧 1 級)から N3(旧 3 級)に合格してい

## 沿革

平成8年9月 吉野に夜間中学をつくる会 結成

平成8年10月 吉野自主夜間中学開校

## 主な活動

- 9月 吉野に夜間中学をつくる会 総会。
- 11月 秋の遠足(柿狩り)・ならサンウリム(主催:なら多文化共生フォーラム)参加。
- 12月 大淀町人権フェスティバル参加・忘年会。
- 2月 奈良県夜間中学研究集会参加。
- 4月 花見。
- 7月 バーベキューの集い。

る。N1(旧1級)取得の何人かの方は会社の事務員に正式採用されたり、県立高校の中国語講師として採用されている。

生徒さんの体験作文は「文字はわしらの命やで」(奈人推協)に掲載されたり、大淀町人権フェスティバルの全体会・奈夜中研・県内の研究集会や第59回全国夜間中学研究集会・奈良大会で発表したりしてきた。

# 学ぶよろこびと食卓を囲む楽しさを 地域の子どもたちに

和歌山県

## 子どもの生活支援ネットワーク こ・はうす

**支援対象:** 小中学生

**支援方法:** 学習支援・夕食の提供

**スタッフ数:** 約 10 名

**実施団体:** 子どもの生活支援ネットワーク こ・はうす

**代表者:** 谷口知美



住所:〒640-8463 和歌山市楠見中 65-21  
TEL:090-3709-7136 FAX:073-452-7710  
e-mail: cohoused073@gmail.com  
URL: <https://www.facebook.com/cohoused073>

### 発足の経緯

私たちは、ファミリーサポートセンターやつどいの広場事業を実施している NPO 法人の活動を通して、親の離婚や病気、経済的困窮などによって子育て困難を抱える家庭が増えていることを感じていました。また、親に障害がある子育て家庭の課題の複雑さを指摘する障害者支援現場からの声もありました。

こうしたメンバーが交流する中で、目の前の親子を支える社会資源を増やすとともに、子どもの貧困の実態を把握し、その解決をめざすネットワークづくりが必要だと機運が高まりました。

幸い貧困問題に関心の高い和歌山大学の先生方から協力を得ることができ、学生ボランティアによる学習支援とみんなで夕食を食べるにぎやかな時間と場所の提供という自分たちでもできそうな事業から、まずは活動を開始したところです。

### 共同作業で関係性づくり

活動の柱として「学習支援」をうたってはいるものの、子どもたちはまだまだ勉強よりも、学生と遊んでごはんを食べて、また遊んでのんびりできる時間としてすごしています。ですが、机に向かうだけが勉強ではないという位置づけで、「一緒にごはんをつくる」作業を大切にしています。学生と子どもとでメニューを決める、一緒に買い出しに行く、調理を分担する、そういった一連の共同作業を通して大人との関係性をつくっている段階です。スーパーまで歩いていく道中で、別々に暮らしているお父さんと遊園地に遊びに行く話をしてくれた子がいました。彼は、こ・はうすで初めて包丁をもったそうです。ニンジンを切ったり、ホットケーキをひっくり返したり、そうした生活経験は自信にもつながります。家庭的な空間で実施している、こ・はうすの良さを発揮し、ふつうのあたりまえの暮らしを積み重ねることで豊かな子ども時代を送ってほしいと考えています。

## 沿革

平成 26 年 12 月 準備会発足。

平成 27 年 1 月 活動試行開始。

以降、毎週木曜日に開催。

## 主な活動

### 無料学習支援

小中学生対象。

学生ボランティアによる学習指導、宿題の見守り等。

### みんなでごはん事業

皆で食卓を囲み、夕食を食べる。買い出しや調理も貴重な生活経験としてとらえ、子どもたちとの共同作業を重視している。



### 地域にこだわって、できることから

当会の活動地域は、和歌山市北部の比較的若い世帯も多い地域です。商業施設・郵便局などが集まっており、電車の駅も近く、車がなくても生活しやすい条件から、低所得層も多いと言われています。そういった地域の子もたちを地域の大人が見守っていく、そんな拠点になればいいなと思っています。

活動開始から 2 か月が過ぎ、少しずつ関心を持って下さる方も増えてきました。特徴的なのは、ご近所の方から家庭菜園の野菜や実家の山で採れた

みかん、食器や電子レンジ等々、さまざまな差し入れ・物品提供があることです。地域で見守っていただいている実感が、安心感となっています。子どもの貧困に関しては、ショッキングな事例が取り上げられがちですが、小さな地域で見れば深刻なケースばかりというわけではありません。お母さんの頑張りで何とか持ちこたえている家庭をほんの小さなことでも支えることで孤立を防ぎ、困ったときや困ってしまう前に気軽にサインを出してもらえ関係を日ごろから作っておくという、予防的な支援も必要です。最初から壮大な活動ができなくても、できる範囲でできることから始める。支援する側も長続きするようにとすることはとても重要だと考えています。



子供と父母がイベントを中心に育児の輪、子供の輪を広げることで、  
育児のゆとりと自信につなげ、地域での子育て環境の向上及び活性化に  
寄与することを目的とする

## 滋賀県

### 子育て Happy エンジェライト

**支援対象:** 小学生以下の子供とその保護者

**支援方法:** 親子参加型、ワークショップ

**スタッフ数:** 3～6名

**実施団体:** 子育て Happy エンジェライト

**代表者:** 川上美智子

住所: 〒520-0814 滋賀県大津市本丸町 5-8  
占いカフェ恐竜や内

TEL: 077-532-1200

e-mail: angelite\_otsu-shiga@yahoo.co.jp

#### 成り立ちと活動の全体像

虐待やネグレクトの原因の一つである孤(子)育  
てを地域でフォローし、交流の場を提供すること  
でストレスを緩和して行きたい。

お金(予算)がなくても地元で楽しめる場を持ち  
たいとの気持ちから設立。

#### 具体的な活動の様子

五感を育むということが実感できるワークショ  
ップの開催、子供の持つ可能性を目の前にするこ  
とにより、親としての喜びを実感して頂き、日々  
親としての成長を決心して頂ける。

ポジティブに子育てを心がけ、より良い子供の環  
境を目指して頂きたい。

支援のスタイル・方法

プロの歌手を見る、聴く機会は高額で、遠方まで  
行くにも時間やお金がかかるもの。

それを身近で無料体験できる場として提供。

#### 沿革

平成 25 年 6 月 設立(子ども未来基  
金助成により)

平成 25 年 9 月 ピカソプロジェク  
ト始動

平成 25 年 10 月 歌手高橋秀幸さん  
を招いてミニコン  
サート

#### 主な活動

親子参加型「ピカソプロジェクト」

- ・五感を育てるプロジェクト、年6回開催

アニメソングイベント

- ・プロの歌手をお呼びして親子で楽しむ、年1～2回開催

# 子どもの虐待防止のためにあなたにできることを

滋賀県

## 特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワーク・しが

**支援対象:** 特定の対象への支援は行っていない

**スタッフ数:** 4名

**実施団体:** 特定非営利活動法人

子どもの虐待防止ネットワーク・しが

**代表者:** 奥田由子

住所: 〒520-0802 滋賀県大津市馬場1-11-4  
TEL: 077-525-9680 FAX: 077-525-9680  
e-mail: capnes@nifty.com

### 沿革

- 平成14年5月 任意団体として設立
- 平成14年9月 ボランティア養成講座および派遣開始
- 平成15年 援助職交流事業開始
- 平成15年 スポット電話相談開始
- 平成16年 日本子ども虐待防止民間ネットワークに参加
- 平成16年 NPO法人化
- 平成23年 啓発学習教材  
高校生用作成
- 平成24年 啓発学習教材  
小中学生用作成

### 主な活動

- 啓発活動（講演会、出前講座、オレンジリボンキャンペーン、講師派遣）
- ボランティア事業（ボランティア養成講座、一時保護所へのボランティア派遣）
- 援助職交流事業（子どもに関わる援助職の研修と交流）



# 共に生き、共に学び、共に支えあう

京都府

## 特定非営利活動法人 東三条希望の会

**支援対象:** 子ども（小学生）、高齢者（居宅介護支援、訪問介護支援など）

**支援方法:** 子どもの居場所づくり、学習支援

**スタッフ数:** 約 10 名（ボランティア）

**実施団体:** 特定非営利活動法人東三条希望の会

**代表者:** 安田茂樹

住所: 〒605-0000 京都市東山区三条大橋東 3 丁目教業町  
市営住宅 3 棟 110 号

TEL: 075-532-2755 FAX: 075-525-2800

e-mail: kibou-no-kai@wonder.ocn.ne.jp

### 沿革

平成 11 年 11 月 NPO 法人東三条希望の  
会設立

平成 12 年 5 月 高齢者の配食サービ  
ス事業 社協より委  
託を受ける

平成 14 年 7 月 訪問介護指定（京都  
府知事）

平成 15 年 6 月 介護支援事業（"）

平成 15 年 12 月 身体障害者居宅介護  
等事業 認定（京都市  
長）

平成 18 年 9 月 特定労働者派遣事業  
届け出（労働省）

平成 25 年 7 月 ひとり親家庭の子ど  
もの居場所づくり事  
業（夏休みの宿題相  
談や体験学習、通年）

平成 26 年 6 月 "

### 主な活動

1. 保健医療又は福祉の増進を図る活動
2. 社会教育の推進を図る活動
3. 人権擁護又は平和の推進を図る活動
4. 男女共同参画社会の形成を図る活動
5. 子どもの健全育成を図る活動

## 乙訓少年支援の会「ひまわり」

**支援対象:** 通信高校生

**支援方法:** 学習支援

**スタッフ数:** 5名

**実施団体:** 乙訓少年支援の会「ひまわり」

**代表者:** 東 達男



住所: 〒602-0098 京都府京都市上京区豎社北半町 194  
TEL: 080-2488-7330 FAX: 075-431-0563  
e-mail: otokunishonen@docomo.ne.jp

### 成り立ちと活動の全体像

退職をした中学校教員が、非行、いじめ問題を始めとする子どもの自立にかかわる諸問題を、教師や、親、地域住民が共に考え、地域に子育ての共同を築くことを目的につくられた。具体的な活動は、年に数回の「教育講演会としゃべり場」の開催、通信制、等の高校に通う生徒の大学進学を視野に入れての学習支援、自主的なスポーツ活動を通しての居場所づくり

### ある日の活動風景

第二、第四木曜日の夜 7 時～9 時まで、中学校のグラウンドを借りて、自主的なスポーツ活動として、サッカーを行っている。「ひまわりハウス」での学習に来られない少年もふくめて、常時 10 名程度、参加している。

### 具体的な活動の様子

毎週水曜日、木曜日の午後 3 時～午後 8 時まで、以前喫茶店をされていた場所を借りて、学習支援をしている。教科は英語、数学を中心に行っている。支援をしている生徒が、この時間内に自由に参加できる形をとっている。マンツーマンでの学習支援を行っている



### 沿革

- 平成 24 年 9 月 乙訓少年支援の会「ひまわり」設立
- 平成 24 年 9 月 京都府府民生活部青少年課ユースアシスト「協力団体」に登録
- 平成 24 年 12 月 京都府地域力再生力プロジェクト支援事業交付金交付決定
- 平成 24 年 12 月 第 1 回教育講演会としゃべり場開催
- 平成 26 年 4 月 「ひまわりハウス」の開設

### 主な活動

- ・平成 24 年 11 月～平成 25 年 3 月、少年の学習支援を実施、高校進学をサポート。
- ・平成 24 年 12 月～現在まで、「教育講演会としゃべり場」を開催。9 回開催。テーマは「非行問題」「いじめ問題」「発達障害について」「虐待問題」「ケアの倫理」「憲法と子育て」「少年支援の現場から」「幼児虐待死から考える」「学校と仕事をつなぐ」
- ・「ひまわりハウス」での、通信制高校通学者の学習支援。
- ・「ひまわりハウス」の参加少年の自主活動としてのスポーツ活動の実施。

# 地域包摂こども支援センター こどもの最善の利益を求めて

大阪府

## NPO 法人 こどもの里 地域包摂こども支援センター

**支援対象:** 児童福祉でいう 0 才～18 才～20 才までの子どもとその家族

**支援方法:** あそび場・居場所の提供 相談 緊急一時保護(早朝・夜間含む) 宿泊場の提供 社会的養護(ファミリーホーム)の場

**スタッフ数:** 7 名 + アルバイト 1 名 + ボランティア

**実施団体:** NPO 法人こどもの里地域包摂こども支援センター

**代表者:** 荘保 共子

住所: 〒557-0004 大阪府大阪市西成区萩之茶屋 2-3-24  
TEL: 06-6645-7778 FAX: 06-6645-7778  
e-mail: kodomo-no-sato@k6.dion.ne.jp

### 子ども夜まわり スタッディツアー

夜回りの大きな目的は、路上で亡くなる人を防ぐことです。普通は大人が中心ですが、大阪では 2 力所で子どもが中心となり取り組んでいます。こどもの里では、1 月から 3 月の週末に実施。夜の活動にそなえて昼寝をしてから、おにぎりなどを用意し、野宿者についての学習会に参加してから街を歩きます。

館長の荘保共子さんが 1986 年に始めました。その 3 年前に神奈川県横浜市で 10 代の若者が野宿者に乱暴、3 人が亡くなり、犯人は「ごみを始末した」と言いました。この事件がきっかけです。

こどもの里がある金ヶ崎地域は、野宿者が目立ちます。1 日ごとの仕事につく「日雇い労働者」が

多く、長い間、日本の建築業などを支えてきましたが、仕事が減り、やる気があっても働けない人が増えたのが原因のひとつです。荘保さんは地元の子供達にも「きたない」「なまけもの」などと偏見があることを知り、彼らとの関わりをもち本当のことを知らないといけなると考えました。

「野宿者は日本社会の構造の中でうまれました。だれも野宿しない社会にしないと行けない。夜回りは、偏見をなくし、子ども達と野宿者がお互いに生きる力を学ぶ場になっています」

国のまとめでは、2013 年 1 月の全国の野宿者は 8265 人で、大阪市が最多の 1909 人。野宿者の問題に詳しい「野宿者ネットワーク」の生田武志さんは「実数はもっと多い可能性があり、路上で亡くなる人もいる。10 代の若者による襲撃もひんぱんに起こっている」と話します。

### 沿革

昭和 52 年 9 月 「子どもの広場」(フランチスコ会)

昭和 55 年 5 月 「子どもの里」に改名、移行(守護の天使姉妹修道会)

平成 11 年 4 月 「子どもの里」に改名、移行(カトリック大阪大司教区)

平成 26 年 4 月 「子どもの里」に改名、移行(NPO 法人)

### 主な活動

童健全育成(ミニ児童館) 大阪市留守家庭児童対策事業  
大阪市、地域子育て支援拠点事業

小規模住居型児童養育事業(ファミリーホーム)

相談、緊急一時保護、宿泊事業

エンパワメント事業・エンパワメントの会・プレーパーク・学習会・子ども夜まわり

訪問支援事業

研修(研修会・ワークキャンプ)・スタディーケア

# 「世界に通じる人材の育成」

兵庫県

## 公益財団法人渋谷教育振興財団

**支援対象:** 大学生への奨学金支給 中学生の主張大会を西宮教育委員会と共催

**支援方法:** 西宮市・豊岡但東町の公立高校卒業生から有為な人材育成のため奨学金を給付 中学生の成長に寄与するため。

**スタッフ数:** 役員 9 名 監査役 1 名 事務局 1 名

**実施団体:** 公益財団法人渋谷教育振興財団

**代表者:** 理事長 渋谷 順子

住所: 兵庫県西宮市鞍掛町 2-9

TEL: 0798-26-0134 FAX: 0798-26-0134

e-mail: sakurarindou@msa.biglobe.ne.jp

### 成り立ちと活動の全体像

創立者渋谷晴爾が郷土への報恩から「世界に通じる有為な人材の育成」を目的として財団組成を考え、西宮市教育委員会・西宮商工会議所の援助を受け設立した。大学生への奨学金給付と共に若年中学生の成長への一助として「主張大会」を教育委員会と共催している。

### 印象深いエピソード

中学生の主張大会。毎年夏休みの終盤実施され 20 校からの出場者に対し各校・生徒・先生・父兄の応援もあり、盛大な行事である。発表内容も若者らしく前向きななかにも人に対するやさしさ・思いやりが感じられ今後の成長が楽しみな会である。

### ある日の活動風景

奨学生懇親会の開催。毎年 5 月母の日に実施、教育長・教育委員会関係・渋谷財団役員出席のもと行なわれ、先輩から後輩への有意義な訓話もあり、和気藹々の会合である。

### 沿革

昭和 59 年 11 月 財団法人渋谷教育振興財団として設立

平成 22 年 10 月 公益財団法人に改組、現在に至る。

京都府

NPO 法人  
あかしゃふれあいネットワーク

**支援対象:** ひとり親家庭の居場所づくり事業(小学生を対象にした)

**支援方法:** 食育事業、イベント事業、相談事業、学習支援、生活支援

**スタッフ数:** 正規職員 2 名、非正規職員 4 名、ボランティアスタッフ 6 名

**実施団体:** NPO 法人あかしゃふれあいネットワーク

**代表者:** 理事長 和田紀子

住所: 〒604-8434 京都市中京区西ノ京新建町 12-34 中京  
いきいき市民活動センター内  
TEL: 075-802-1301

京都府

城陽市支援寺子屋「ステージ」

**支援対象:** 中高生

**支援方法:** 学習支援

**スタッフ数** 4 名

**実施団体:** 城陽市支援寺子屋「ステージ」

**代表者:** 杉岡 義次

住所: 〒611-0043 京都府宇治市伊勢田町砂田 6-25  
TEL: 0774-20-3474 FAX: 0774-20-3474  
e-mail: stp-sgok@bukkyo-v.ac.jp

沿革

平成 24 年 7 月 発足及び活動開始。

主な活動

京都府府民生活部青少年課ユース・アシストチームと連携し、チームの城陽市における、児童・生徒の学習支援活動をサポートする。

## 大阪府

### 特定非営利活動法人 おおさか教育相談研究所

**支援対象:** 小学生以上の子ども・成人

**支援方法:** 相談室への来所相談

**スタッフ数:** 26 名

**実施団体:** 特定非営利活動法人おおさか教育相談研究所

**代表者:** 柚木健一

住所: 〒534-0021 大阪市天王寺区東高津町 12 - 14

TEL: 06-6766-5773 FAX: 06-6768-2527

e-mail: kyoubun@minos.ocn.ne.jp

URL: <http://kyoiku-sodan.main.jp/>

#### 沿革

平成 24 年 4 月 現在の法人として活動を開始

#### 主な活動

教育相談  
協力支援団体への出張相談  
教育員との相談  
講演会(主に、登校拒否、社会的ひきこもりに関して)  
講師の派遣  
保護者交流会への参加  
関係支援機関との連携

## 大阪府

### 公益財団法人大阪府育英会

**支援対象:** 進学予定の中学 3 年生及び高校生等

**支援方法:** 高校等入学時増額奨学資金及び高校等奨学資金

**スタッフ数:** 65 名

**実施団体:** 公益財団法人大阪府育英会

**代表者:** 理事長 前田 晶治

住所: 〒534-0026 大阪市都島区網島町 6-20

大阪府私学教育文化会館内

TEL: 06-6358-3052 FAX: 06-6358-3053

e-mail: soumu@fu-ikuei.or.com

URL: <http://www.fu-ikuei.or.jp>

#### 沿革

昭和 27 年 4 月 財団法人大阪府育英会設立  
育英会貸付制度(高校・大学)開始  
昭和 44 年 4 月 入学資金貸付制度(私立高校)開始  
昭和 45 年 4 月 入学資金貸付制度(私立大学)開始  
昭和 49 年 4 月 育英制度を奨学制度に改める  
平成 14 年 3 月 大学奨学資金制度を廃止  
平成 23 年 5 月 給付型奨学資金の創設  
平成 24 年 4 月 公益財団法人移行

#### 主な活動

- ・奨学金の貸付(入学時増額奨学資金・奨学資金を高校生等へ貸付)
- ・USJ 奨学金給付(経済的な理由により学習環境に恵まれない高校生等を支援)
- ・夢みらい奨学金給付(経済的な理由により学習環境に恵まれない高校生等を支援)
- ・特別奨励金給付(児童養護施設等へ入所、里親等により養育されている高校生等に大学等の進学を支援)

## 和歌山県

### 特定非営利活動法人キャリア ファシリテーター協会

スタッフ数: 38 名

実施団体: 特定非営利活動法人

キャリア・ファシリテーター協会

代表者: 理事長 中谷 恭子

住所: 〒641-0013 和歌山県和歌山市内原 1678-9

TEL: 073-425-3720 FAX: 073-425-3600

e-mail: info@npo-cfa.com

URL: <http://npo-cfa.com>

#### 沿革

平成 18 年 3 月 特定非営利活動法人として設立

#### 主な活動

- ・和歌山県若年者就職支援センター「ジョブカフェわかやま」の運営
- ・若者サポートステーションわかやま、きのかわの運営
- ・金銭基礎教育 Money Connection R
- ・就業支援、キャリア教育に関する講師派遣 等